

日本海大和堆周辺水域等における外国等漁船への対応状況について
(令和2年漁期)

- 日本海の大和堆周辺水域は、我が国水域内にあり、イカ釣り漁業、カニかご漁業、底びき網漁業の好漁場です。近年、この漁場を狙って、違法操業を目的に我が国水域に進入する外国等漁船が後を絶たず、我が国漁船の安全操業の妨げにもなっていることから、大きな問題となっています。
- 現在、水産庁は我が国漁船の安全操業の確保のため、漁業取締船を大和堆周辺水域に重点的に配備しています。本年は、同水域では北朝鮮漁船はほとんど確認されていませんが、中国漁船は8月以降大きく増加しています。
- 水産庁漁業取締船は、これら違法操業を目的に我が国水域に進入する外国等漁船に対し、退去警告を行うとともに、放水等の厳しい措置で我が国水域から退去させています。
- 本年9月30日までに水産庁が実施した外国等漁船に対する退去警告隻数は以下のとおりです。

退去警告延べ隻数（うち放水措置）

	令和 2 年 ※9月30日現在	令和元年 ※9月30日時点
北朝鮮漁船	1 (0)	2,164 (690)
中国漁船	2,586 (329)	726 (289)
合 計	2,587 (329)	2,890 (979)

- 水産庁は、引き続き日本の漁業者が安心して操業できるよう、海上保安庁とも連携して万全の対応をとっていきます。

大和堆周辺水域で中国漁船に放水する漁業取締船(東光丸)



中国漁船(大型底びき網漁船)

